

図書館活用を核とした授業改善 ～生徒の主体的・対話的で深い学び～

鳥取県 鳥取市立東中学校

基本データ

所在地 鳥取市立川町 6 丁目
164 番地
児童生徒数 384 人
教職員数 55 人
蔵書数 9,930 冊
年間貸出冊数 9,279 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 生徒が主体的に学ぶ図書館
- 生徒が生き抜く力や豊かな人間性を育む図書館
- 生徒と教員の学習活動を支える図書館

取組・活動の概要

(1) 1年理科「火山の分類」

<ねらい>

3つのタイプの火山の形を資料の中から見つけ、選んだ根拠をグループで話し合い、思考を深めることができる

- 3つのタイプの火山の特徴を確認する
- 資料の中から3つのタイプの火山を見つけその根拠を情報カードに書く
- グループで話し合い代表の3つを決定する
- ICT を使い発表・相互評価する

(提供資料：火山関連本その他、名山カレンダー)



「火山の分類」情報収集の様子

(2) 2年家庭科「住まいの診断カルテ」

<ねらい>

住まいの問題を探り、その改善策を資料で調べ、レポートにし、それを自分の生活に結び付けて生活を工夫することができる

- 事前に住まいの問題点を見つける
- 資料の中から改善策を探す
- レポートにまとめ発表する
- 他の人から意見をもらい自分の生活に生かす
(提供資料：地震関連本その他、官公庁や自治体の広報誌)

(3) 3年国語科「ポスターの批評文を書こう」

<ねらい>

郷土ポスターをいろいろな視点で分析し、説得力を持たせるために、適切な引用を考えて批評文を書くことができる

- 鳥取県に関わりのある4枚のポスターの中から関心のあるポスターを選ぶ
- 批評文の観点の立て方・引用の仕方を聞く
- 観点を立てる
- 文献から説得力ある言葉を探す
- 昨年度の作品を参考にする
- 批評文を書く

(提供資料：名言集等その他、図書館全部が資料)

取組・活動の工夫や特徴

- 図書館年間活用計画を教科部会で共有している。
- 学校司書の連携で9年間を見据えた「中学校区図書館活用体系表」を作成している。

- 司書教諭（T2）及び学校司書（T3）が授業者（T1）と連携し、図書館の学びを支援している。
- 学校司書は授業者と積極的にコミュニケーションをとり、授業の目的や意図に応じた多様な資料収集を行っている。
- 生徒が多角的な視点から情報を収集し、整理分析できるよう、ブックリスト、パスファインダー、情報カード、思考ツールのワークシートを作成している。
- 目的に応じ、図書館活用スキルの指導を行っている。
- 教科関連図書を実物や模型と一緒に展示し、生徒の関心を高め、学びを深めさせている。
- 学びのプロセスを校内に掲示し、図書館教育の可視化や情報発信に努めている。
- 授業内容（ワークシート・有効図書資料・板書等）を記録し、次の図書館活用に生かす工夫をしている。



教科関連図書の展示

取組・活動の成果や今後の展望

- 図書館を活用した授業が増加し、そこでの多様な資料との出会いが生徒の知的好奇心を刺激し、新たな発見や、自らの探究心を高めるきっかけとなっている。
- 授業活用時数はH25年度～H28年度にかけて約3倍に増加、H30年度は380時間となる。
- 作品成果物を校内に掲示することで、生徒の自己肯定感を高めている。
- 知識を得ることを中心とした図書館の活用から、思考力やコミュニケーション能力の活用など、これから求められる資質・能力の育成を目

指した図書館の活用が変わってきている。

- 今後は、図書館を中心とした教科横断的学習のカリキュラムを作成し、より効果的な学びの展開につなげていきたい。



グループのテーマを協議する様子